



水を飲んでも「げっぷ」が出るのはなぜ

「げっぷ」は、飲みこんだ空気が口から出たもの

「げっぷ」は、わたしたちのまわりにある空気が、食べ物や飲み物といっしょに飲みこまれ、胃に入って、「げっぷ」になって、出てきたものなのです。ですから、水を飲んだときに、いっしょに飲みこまれた空気が、「げっぷ」になって出てくるのです。

同じように、「おなら」も、おしりから出るというちがいがあただけで、もとは、わたしたちのまわりにある空気が、食べ物や飲み物といっしょに飲みこまれ、おなかに入って、出てきたものなのです。

「げっぷ」と「おなら」のちがいは

ただし、息を吸ったときに吸いこんだ空気は、「げっぷ」や「おなら」にはなりません。

息を吸ったときの空気は、肺にいけます。

「げっぷ」や「おなら」になるのは、食べ物や飲み物といっしょに飲みこんだ空気で、飲みこんだ空気は、そのまま胃や腸にいくのです。

そして、胃にいった空気が、逆もどりして口から出たのが「げっぷ」になり、胃を通りすぎて、腸の中でできたガスといっしょになって、おしりから出たものが「おなら」というわけです。（監修・保志 宏）

